

国語2年「扇の的」平家物語 A. I 教諭

武士が台頭した鎌倉時代。

戦乱に関心を抱く人々の声に応え、武士の活躍と運命を描く「軍記物」が生まれた。中でも『平家物語』は琵琶法師によって語られ、文字を知らない人々もその世界に引き込まれたと言われる。

【授業の流れ】

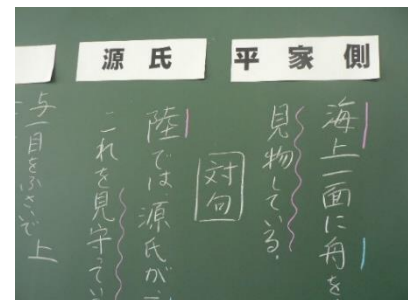
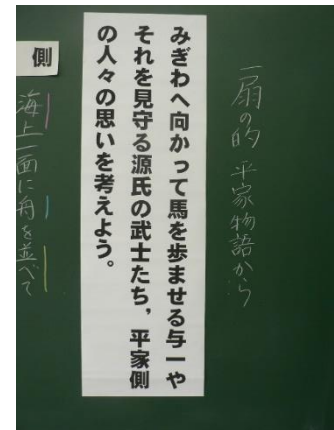
- (1) 時・場所・登場人物・状況を確認
- (2) 今日の目標を確認
- (3) 音読

古文の独特のリズムを、体に親しませる。
区切れる箇所を教え、読み方の工夫を伝える。

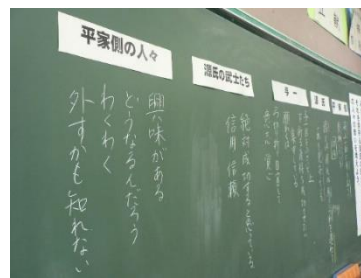
- (4) 中心課題

みぎわへ向かって馬を歩ませる与一や、
それを見守る源氏の武士たち、平家側の
人々の心情を考える。

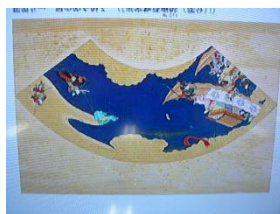
- 個人で考える。「静」
登場人物の心情が分かる表現を手掛かりにする。
- 小グループで話し合う。「動」
- 学級全体で共有。



構造化されている板書



対句の表現に
着目すること
で、古文の読
み取りに汎用
がきく。



デジタル教科書
を使用した授業



本校の今年度の重点目標

【授業改善】「自己との対話から学びを深め、
他者を意識した表現を工夫する生徒の育成」

